

通信

あむーる



編集：八幡成人（やわたしげと）

「チームハちゃん」ホームページ：<https://teamhacchan.wordpress.com/>

11月号

★今回は北海道大学・農学部に進学した井上謙信（いのうえけんしん）くん
に大学の紹介をしてもらいました。私もか
つて札幌を訪ねた際に、北海道大学に
お邪魔しましたが、そのスケールの大きさに
驚きました。学内に川が流れており、北
海道の大地に壮大なキャンパスが広がっ
ていました。◆◆◆

特集

北海道大学・総合理系

1回生 井上謙信

こんにちは、早速ですが皆さんに
北大の魅力を紹介しようと思いま
す。

まず一つ目としては、独特なキャン
パスの景色です。北大の札幌キ
ャンパスは札幌駅から徒歩5分くら
いのところにありますが、キャンパス
内ではあたり一面木々が生い茂っ
ていて川や池、さらには農場まであ
り、まるで森の中にいるように感じ
てしまいます。早朝にキャンパス内を
散歩しているとキツネやエゾリスを
見ることでできちゃいます。（エ
ゾシカのオスを見た時は流石に怖
かったですが……）

二つ目としては、北海道ならではの
講義があることです。例として「ア
イヌ語を通して文化を学ぶ」と言
う講義や「サケ学入門」（この講義
を北海道以外で味わうのは難し
い）、さらには「競馬の世界」（あの

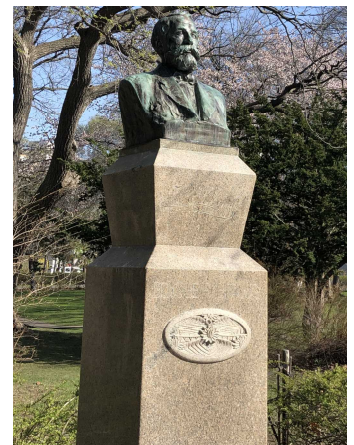
武 豊に会えちゃいました）なんて
講義もあります。

三つ目としては自治寮があること
です。札幌市はやはり都会なので、
家を借りるのも結構な額のお金がか
かります。しかしながら北大には庶
民の味方である「恵迪寮」という
自治寮があります。なんと月々約一
万五千元で生活できます。またこの
寮は、明治四十年から続く寮で、今
では失われてしまった「これぞ大学
生」と言われるような様々な伝統的
な文化があります。（例えば高下駄
をはいて皆で歩く行事や赤いふん
どしをはいて大通で寮歌を歌うなど
があります）

ここで紹介したことは北大の魅力
のほんの一部にすぎず、まだまだ
多くの魅力があります。また北大は
旧帝大では比較的入りやすいので
オススメです。皆さんの中に北大に
興味を持ってくれる人が一人でも増
えれば幸いです。♥♥♥



▲志学館で後輩たちに話す井上くん

▲写真上から北大正門、クラーク
博士像、北大自治寮

So-soは「まずまず」ではない！

辞書と現実の用法とのギャップ

特集

先日行われた「第3回全統記述模試」の第3問文法・語法問題の選択肢の中に、so-soという語が出題され、解答解説には「たいして良くも悪くもない、まずまずの」という解説があり、「あー、またか。分かってないなあ」とため息が出ました。この語は「まあまあ」とか「まずまず」といった意味ではありません。かつて松江北高のALTのエドワード先生(アメリカ・アリゾナ州出身)は語感が非常に鋭く、ずいぶんいろいろなことを教えていただきました。生徒がよく教室で使う“So-so”という表現について、二人で話し合ったことがあります。私個人は、“How are you?”と聞かれて、“So-so.”と答える日本人高校生がとても気になっていました。本人は50%くらい、「まずまず、可もなく不可もなく」(＝良くも悪くもない)という気持ちで答えていると思うのですが、私にはずいぶん違和感があります。たしかに英和辞典などにもそう書いてありますから、当然と言えば当然のことなんです(英米の辞典を写しているだけのものが多いですから、これは至極当然のことかもしれません)。

「よくも悪くもない [なく], まあまあ (の)」(フェイバリット英和)、「たいしてよくも悪くもない, まずまずの」(ジニアス英和)が定番です。

neither very good nor very bad = average
: “How was the party?”—“Oh, so-so.”
[Longman Dictionary of Contemporary English]
not particularly good or bad; average : “How are you feeling today?”—“So-so.”
[Oxford Advanced Learner's Dictionary of English]

エドワード先生は、辞書的には確かにそうなんだが、実際の自分の語感では良くない意味で使う、と言われます。実際のネイティブの会話の中では、ニュアンスがかなり違って聞こえているということです。尊敬するデビッド・セイン先生の『日本人が「使

いすぎる」英語』(PHP文庫、2012年)によれば、“So-so.”の正確なニュアンスは、「実は最悪の気分なんだけど、それを言うのもなんか気が引ける」といった感じなのです。したがって、思わず、“Oh what's the matter?”(おや、どうかしたの?) “Why?”(どうして?)と聞き返したくなる言葉です。そもそも使用頻度の点でも、“So-so.”という表現は、日本人ほどよく使われる表現ではありませんし、「日常ではほとんど使わない」というネイティブ・スピーカーもいます。少なくとも、ネガティブなイメージの時や悪いときの感じに使われます。「よくなかった」「納得いかない」「不満が残る」などの場合ですね。エドワード先生の語感によれば、40:60で悪いイメージだとおっしゃいます。英語で“How are you?”に対して、“So-so.”と答えるときは、実は何か問題があるけれど、それをはっきりと言うのは憚られるような時なのです。例えば、会社の同僚に聞かれたときに“So-so.”と答えた場合、二日酔いでちよつと具合が悪かったり、昨日恋人と別れたとか、交通事故で車が廃車になったとか、あるいはもっとシリアスな状況なのかもしれません。普通は、“Not bad”、“Not too bad”、“Fine”、“I'm all right”、“I'm okay”などと答えるのでしょう。so-soはものや自分が体験したことに対して使われ、レストランでの食事は期待していたほどでもなかった場合に、“The meal was so-so.”と使います。レビューに“so-so food”や“so-so service”といった表現を見ることがありますが、明らかに「ガッカリ感」が含まれていますね。このような“So-so.”の「平均以下」という否定的なイメージを捉えた珍しい辞書が、Cambridge Advanced Learner's Dictionary (Fourth Edition)です。最近これと似たような使い方をする日本語に「微妙」という言葉がありますね。INFORMAL between average quality and low quality; not good or well : a so-so performance “How are you getting on with your new boss?”—“So-so.”

また、日本人高校生が、何かのことが好きかという質問に対して“So-so.”と答えるの

をよく見ますが、英語のネイティブ・スピーカーにはこういう答えは不自然だと感じられます: “Do you like natto?”—△“So-so.”
cf. デビッド・バーカ『英語じょうずになる事典』(アルク、2008年) とうきの正しい答えは、“It's okay.”です。So-soと答えるためには、How～?で聞かれるのが普通で、Do you ～?でSo-soと答えるのは不自然なのです。

最新のスチーブン・ミッチェル『それ、ネイティブ言わないよ! 日本人が間違えやすい英語表現100』(明日香出版社、2023年9月)の中にも、このことが取り上げられています。

英語の辞書ではso-soを「良くも悪くもない」と定義していますが、多くのネイティブにとってso-soは良いことを伝える語だという印象はありません。例えば、誰かが私に「先週観た映画はどうでしたか?」と尋ねて、私が英語で“So-so.”と答えれば、「私はその映画をそれほど楽しんだわけではなく、誰かにすすめるつもりはない」ということを暗に伝えているのです。(p. 150)

「まあまあ」の意味でよく使われる英語表現には、“Not bad.”「変わりなく順調」、「No thing Special.”「相変わらずだよ」、「Same as usual.”「いつも通り」「相変わらず」というニュアンス、“Not much.”「特に大きなことはないよ」、「It's okay.”「まあまあ」、「Pretty good.”「まあまあ良い」などがあります。

今日取り上げた“So-so”は、辞書的な意味と実際の使用とで差が見られる例です。10年ぶりに改訂された最新の『ライトハウス英和辞典』(第7版、2023年)には、次のような用例と注意書きが加わりました。
“How are you?” “Just so-so.” 「元氣」「まあね」《否定的に響く》

大切なポイントは、①so-soは「良くはないけれど許容できる」「微妙」という意味。Good>So-so>Badの関係です。日本語の「まあまあ」よりも下のランクです。②ネイティブ同士の会話ではそこまで使われることはない、の二点です。♥♥

